（ 施設名 ： 大町市信濃木崎夏期大学 ）

# 指定管理者の管理運営に対する評価シート（年度評価）

## 1　公の施設

評価対象年度：令和3年度（指定期間５年のうち４年目）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施設名 | 大町市信濃木崎夏期大学 | 設置年月 | 平成２５年４月１日<br>（大正６年３月２日） |
| 所在地 | 大町市平７２４３番地 | 所管課 | 教育委員会事務局　生涯学習課 |

## 2　指定管理者

| | | | |
|---|---|---|---|
| 団体名 | 公益財団法人　信濃通俗大学会 | 選定方法 | 公募　・　非公募 |
| 住　所 | 大町市大町１０５８番地３３<br>北アルプス市町村会館内 | 指定期間 | 平成３０年４月１日<br>～令和５年３月３１日 |

## 3　当該施設の管理運営に関わる収支（単位：千円）

| 項目 | | | 予算額 | 決算額 |
|---|---|---|---|---|
| 市 | 収入 | 納付金 | 0 | 0 |
| | | | | |
| | | 計（A） | 0 | 0 |
| | 支出 | 指定管理料 | 0 | 0 |
| | | 修繕費 | 0 | 0 |
| | | | | |
| | | 計（B） | 0 | 0 |
| | 差引（A－B） | | 0 | 0 |

| 項目 | | | 予算額 | 決算額 |
|---|---|---|---|---|
| 指定管理者 | 収入 | 指定管理料 | 0 | 0 |
| | | 利用料 | 215 | 249 |
| | | 聴講料 | 95 | 64 |
| | | 市町村補助金 | 625 | 625 |
| | | 教育会補助金 | 1,280 | 1,280 |
| | | 寄付金 | 800 | 650 |
| | | 雑収入 | 351 | 379 |
| | | 繰越金 | 532 | 537 |
| | | | | |
| | | 計（A） | 3,898 | 3,784 |
| | 支出 | 人件費 | 80 | 80 |
| | | 夏期大学開講事業費 | 2,630 | 2,404 |
| | | 夏期大学維持管理費 | 1,120 | 740 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | 計（B） | 3,830 | 3,224 |
| | 差引（A－B） | | 68 | 560 |

（ 施設名 ： 大町市信濃木崎夏期大学 ）

## ４　職員の配置状況（人数、役職、職務内容、正職員・非常勤職員等）

・指定管理者として、事務局長を１名配置し、北安曇教育会と連携して管理に当たっている。

## ５　施設の利用状況

| 利用区分等 | 目標値 | 実績 | % |
|---|---|---|---|
| 民間団体夏期合宿 | １０日間１５人 | １０日間１５人 | 100% |
| 原始感覚美術祭 | ２日間５０人 | ３日間４０人 | 120% |
| 北アルプス国際芸術祭 | | ６日間９０人 | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

## ６　自主事業の状況

| 事業名・イベント名 | 開催日時 | 参加者 | 内容 |
|---|---|---|---|
| 第１０４回信濃木崎夏期大学 | ８月１日～９日 | 1216人 | ９日間の講義を開催 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

## ７　事故発生時の対応

| 日付 | 内容・対応等 |
|---|---|
| なし | なし |
| | |
| | |
| | |
| | |

## ８　施設・設備の修繕状況

| 日付 | 内容・対応等 |
|---|---|
| 6月30日 | 樹木の伐採 |
| | |
| | |
| | |
| | |

## ９　利用者満足度調査（利用者アンケート）

アンケート実施の有無（ 有 ・ 無 ）

【アンケート方法】

・夏期大学の開講期間中毎日、聴講者にアンケート用紙を配布し、運営や講義内容について意見を伺った。

【アンケート期間】
・聴講者　　８月１日～９日
・学校関係者　　８月末

アンケート集計結果内容

聴講者アンケート

・ＳＤＧＳのことなど、老人だからと人任せにしていてはいけないとわかりました。子どもがこれから仕事をしていく上で、どの様に社会が変わっていくか、それをこのままにしておいては、絶対にいけないと身にしみました。とてもよかったです。
・コロナ禍にもかかわらず開講していただき、とても嬉しく有り難く思っています。細やかなコロナ対応の中で、静寂な素晴らしい環境の中で開講に参加でき感動でした。安心して受講できました。

利用者からの主な苦情・意見とその対応

・配付資料の表やグラフに色がないため、見にくかった。
→予算の関係で資料をカラー印刷することは困難である。資料を２カ所で映写しているので、それと併せて見ていただくよう呼びかけたい。

アンケートによる改善点

・開講式の挨拶が聞き取りにくかったとの声があった。ピンマイクは服とこすれたり向きが変わったりしてしまうので、講義はできるかぎりハンドマイクで対応した。
・メモを取るために机が欲しいとの意見があったが、コロナ禍においては対応が難しい。コロナが収束したら以前のように机を用意したい。

## １０　管理運営に対する評価、制度導入の効果について（総括）

【指定管理者（総括）】

・令和２年度は１００年を超える夏期大学の歴史の中で、はじめて開催を断念することになったが、開催を望む声も寄せられていた。今年度は年度当初から感染防止策を綿密に計画し、「講座案内」などで聴講者に周知して計画通り９日間の講義を開催した。感染者や濃厚接触者の発生もなく、９日間の講義を終えられたことは、運営に当たる者のみならず、聴講者の協力の賜と感謝したい。
・市教育委員会にはリモート配信の設定をしていただき、学校関係者の聴講希望が多かった日には、密を避けるため学校へ配信を行った。
・施設の管理運営は、市教育委員会生涯学習課と情報交換・連携を図り、定期的に点検を行い良好な状態を維持できた。指定管理者制度により、施設を利用でき大変有り難い。
・依然として感染は収束していないが、令和４年度も、感染防止策を徹底して、夏期大学を開講する予定で年度末から準備を始めている。

【施設所管課（総括）】

・新型コロナウイルス感染症の影響により、施設運営に対し大変苦慮されながらも、感染対策を十分に施し、歴史的価値のある事業の開催や文化的価値のある建物や景観への配慮を行いつつ、安心・安全な施設運営をされいる。また、１００年以上時切れることなく開催されてきた自主事業の信濃木崎夏期大学が、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度中止とせざるを得なかったが、今年度開催されたことは、引き続き、この地域の生涯学習の向上に繋がるとともに、国内初の夏期大学がある地元市民の誇りに繋がる。指定管理者制度を活用し公益財団法人信濃通俗大学会における管理運営は大変効果的である。

（ 施設名 ： 大町市信濃木崎夏期大学 ）

１１　評価内容

| 評価の視点・項目<br>適当である「○」、改善が必要である「△」、未実施「×」 | | |
|---|---|---|
| １　施設の運営について | 評価 | |
| **経営方針** | 指定管理者 | 所管課 |
| 施設運営のための経営方針は適切であったか | ○ | ○ |
| 市の方針、施設の設置目的、業務等を的確に理解し運営されているか | ○ | ○ |
| 【指定管理者の評価】<br>・感染の防止を徹底するため、座席の配置や消毒、接待の方法など、県や市の指針に従って運営できた。 | | |
| 【所管課の評価】<br>・コロナ禍ではあるが、地域の生涯学習の発展のため、感染対策はもちろん、様々な工夫を凝らしながら、施設設置目的のため運営がされた。 | | |
| **利用者のサービス向上、利用促進に向けた取り組み** | 指定管理者 | 所管課 |
| サービス向上のための取組みは適切であったか | ○ | ○ |
| 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足度が得られているか | ○ | ○ |
| 利用者の要望･意見の把握・対応は適切であったか | ○ | ○ |
| 利用者のトラブルの未然防止と対処方法は適切であったか | ○ | ○ |
| 施設の設備等の活用は適切であったか | ○ | ○ |
| 広報など利用に関する周知計画は適切であったか | ○ | ○ |
| 利用促進への取り組みは適切であったか | ○ | ○ |
| 施設利用(貸出)に関する具体的な計画は適切であったか | ○ | ○ |
| 【指定管理者の評価】<br>・例年利用していただいている団体は、コロナ禍の状況をよく理解していただき、適切に利用していただいた。感染の発生もなく、対応は適切であった。「利用できて大変有り難かった」との声をいただいた。<br>・延期されていた北アルプス国際芸術祭は、当初計画とは変更になったが、利用していただいた。このような状況の中でも、工夫して利用していただき、社会教育施設としての意義は大変大きいと感じた。<br>・夏期大学の聴講者数は例年に比べて減少しているが、コロナ禍での開催であることを考えると、想定以上に参加いただいたと考える。 | | |
| 【所管課の評価】<br>・新型コロナウイルス感染症の影響により、開館・閉館など二転三転ある中で、柔軟に対応し、感染対策も徹底しながら、サービスの向上に努め、状況に合わせながら利用促進を図っていただいた。 | | |

（ 施設名 ： 大町市信濃木崎夏期大学 ）

**評価の視点・項目**

適当である「○」、改善が必要である「△」、未実施「×」

## ２　危機管理体制、平等利用等について

評価

### 安全対策・緊急対策

| | 指定管理者 | 所管課 |
|---|---|---|
| 利用者の安全確保に関する研修を実施し、職員が内容を熟知しているか | ○ | ○ |
| 防災訓練等が実施されているか | ○ | ○ |
| 施錠、警備体制等は適切であるか | ○ | ○ |
| その他緊急時の対応が適切であったか | ○ | ○ |

【指定管理者の評価】

・夏期大学の運営に当たる学校職員は、職務上感染防止意識が高く、細かい点まで配慮が行き届いていた。
・感染防止のマニュアルを作成し、利用者に周知することができた。
・３年ごとの、消防署の「防火対象物点検報告特例認定」の申請を行い、立入検査を受け、「認定」を受けた。
・周辺の樹木の状況も定期的に点検し、倒れるおそれのあるものは伐採した。

【所管課の評価】

・法定検査を確実に実施するとともに、敷地内の松枯れによる倒木の危険性など、幅広く点検していただいている。また、新型コロナウイルス感染症予防への高い意識を持ちながら、安全・安心な施設運営を実施している。

### 利用者の平等な利用の確保

| | 指定管理者 | 所管課 |
|---|---|---|
| 利用者の平等な利用の確保がされたか | ○ | ○ |
| 不適切な利用の制限が行われていないか | ○ | ○ |

【指定管理者の評価】

・利用希望者は夏期大学の施設であることを理解してくれているため、使用状況がよく大変有り難い。
・利用申込みをしても、感染状況を考慮して中止する団体もあった。状況が改善すればまた利用したいとの希望で、ぜひ利用していただけるよう工夫したい。

【所管課の評価】

・利用希望者に対し、誠実に対応しているとともに、社会教育施設として誰にも開かれた施設運営をされている。

（ 施設名 ： 大町市信濃木崎夏期大学 ）

**評価の視点・項目**

適当である「○」、改善が必要である「△」、未実施「×」

## ３　施設の管理経費及び事務処理等について

評価

| 施設の管理運営に係る経費の内容 | 指定管理者 | 所管課 |
|---|---|---|
| 施設・設備の維持管理の取組みは適切であったか | ○ | ○ |
| 経費節減のための取り組みは適切であったか | ○ | ○ |
| 収支計画と事業計画の整合はとれていたか | ○ | ○ |

【指定管理者の評価】

・年に６回の維持管理作業のほか、定期的に点検を行い、施設の維持管理に努めた。保全状況は良好である。
・感染防止のためのアルコール消毒液やパーテーションなどの購入に、かなりの費用がかかった。運営に当たる学校職員の密を避けるために、人数を減らしたため、その分の費用が浮き、何とか計画内の経費で運営できた。今後も経費の削減に努めたい。

【所管課の評価】

・定期的に施設関係者が集まり施設や環境の整備を行うなど、経費の節減や適正な施設維持への意識は大変、高い。

| 経理及び事務処理等 | 指定管理者 | 所管課 |
|---|---|---|
| 適正に会計処理が行われているか | ○ | ○ |
| 業務報告書や事業報告書が適切に作成されているか | ○ | ○ |
| 引き渡した備品が適正に管理されており、その帰属が明確であるか | ○ | ○ |

【指定管理者の評価】

・公益財団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第２２条により、毎年、所管行政庁の長野県へ財産目録等の提出が義務づけられているため、税理士により適正に事業報告書や収支計算書が作成されている。

【所管課の評価】

・「公益財団法人」は、県へ事業報告書等を提出する義務があるため、税理士により適正な議業報告、会計処理が行われている。また、毎年、市への事業報告書の提出もあり、適正に処理されている。

（ 施設名 ： 大町市信濃木崎夏期大学 ）

**評価の視点・項目**

適当である「○」、改善が必要である「△」、未実施「×」

## ４　労務管理について

| 職員の配置について | 評価 指定管理者 | 評価 所管課 |
|---|---|---|
| 人員の配置、有資格者の配置は適切であったか | ○ | ○ |
| 職員の研修計画は適切であったか | ○ | ○ |
| 地域雇用への配慮がなされているか | ○ | ○ |

【指定管理者の評価】

・人員の配置は適切に行っている。
・防火管理者には有資格者を配置している。事務局長や北安曇教育会の夏期大学運営委員も防火管理者の有資格者である。

【所管課の評価】

・事務局長が１名のみであるが、北安曇教育会職員が事務を兼ねており、管理運営には全く支障がない。また、貸館が主な施設であり、必要最低限の職員で対応している。

| 労働条件について | 指定管理者 | 所管課 |
|---|---|---|
| 労働法規等を遵守した適正な労働条件を確保しているか<br>*（※「労働関係法令遵守に係る確認事項」を記入のうえ、添付すること）* | ○ | ○ |
| 法定三帳簿（労働者名簿.・賃金台帳・出勤簿）が整っているか | ○ | ○ |
| 給料が遅滞なく定められた期日に支払われているか | ○ | ○ |
| 健康診断は適正に行われているか | ○ | ○ |

【指定管理者の評価】

・信濃通俗大学会事務局長は、北安曇教育会が主たる雇用主であるため、北安曇教育会で法令に従って労働条件を確保してある。

【所管課の評価】

・事務局長は北安曇教育会職員と兼務となっているため、北安曇教育会の労働条件に準じている。なお、北安曇教育会では適正な労働条件が確保されている。

（ 施設名 ： 大町市信濃木崎夏期大学 ）

**評価の視点・項目**

適当である「○」、改善が必要である「△」、未実施「×」

## ５　その他

評価

| 連絡調整体制の整備 | 指定管理者 | 所管課 |
|---|---|---|
| 施設の運営や事故等、必要な報告・連絡が速やかに行われたか | ○ | ○ |
| 指定管理者と施設所管課で調整が行われたか | ○ | ○ |
| 指定管理者と施設所管課が互いに協力し、施設の有効活用が図られたか | ○ | ○ |

【指定管理者の評価】

・日常的に所管課と連絡を取り合い、適切に対応している。特に今年度も感染症の拡大に伴う施設利用制限などがあったが、適切に対応できた。

【所管課の評価】

・常に連絡や報告があり、確実に情報共有がされている。

| 自主事業の実施・地域への配慮 | 指定管理者 | 所管課 |
|---|---|---|
| 自主事業の内容は適切であったか | ○ | ○ |
| 地域との連携ができたか | ○ | ○ |

【指定管理者の評価】

・夏期大学の開催は多くの方々に喜んでいただいた。
・この地域から選出されている評議員も感染防止や環境整備に積極的に関わっていただき、大変有り難い。

【所管課の評価】

・歴史的な背景も含めて地域と連携しながら、大変、意義深い事業が実施されている。

| 法令等の遵守・個人情報の保護措置・情報公開 | 指定管理者 | 所管課 |
|---|---|---|
| 関係法令等が遵守されたか | ○ | ○ |
| 個人情報保護の取組みは適切であったか | ○ | ○ |

【指定管理者の評価】

・適切に対応している。

【所管課の評価】

・公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の規定に基づいて認定された財団法人であるため、原則として３年に一度の立ち入り検査を受けることから、遵法意識は高く透明性が確保されている。

| その他施設の特殊事情 | 指定管理者 | 所管課 |
|---|---|---|
| １００年を超える木造の建築物で文化財としての価値が高い | ○ | ○ |
| （施設所管課で施設の特殊性を考慮した内容を記載） | | |

【指定管理者の評価】

・冬期期間は冬囲いをして閉鎖期間中の損傷を防ぐようしている。

【所管課の評価】

・歴史的価値を含めた施設として、適正な配慮がされている。